



サパナのキッチンから

TIFA カフェ・サパナ誕生から半年以上がたちました。いつも皆さまのご利用ありがとうございます。

これまでサパナでは、平日の日替わりシェフとして 11カ国 16 人の外国人が料理をふるってくれました。日本にない食材は母国から取り寄せるなど、故郷の味を再現するためにいろいろ工夫してくれています。これから秋から冬にかけては、持ち帰れるメニューも増やしていきたいと思えます。お客様の層は赤ちゃん連れの主婦層から常連の年配の方まで女性が 8 割ほどですが、ご夫婦や男性のみのお客様も定着しつつあります。

外国人シェフたちは皆それぞれいろいろな状況、環境にありながら、とてもよく頑張っています。何よりもうれしいことは、サパナで料理を作ることが楽しい、サパナで自国の料理を振る舞い、お客様と触れ合えることが楽しいと言ってくれていることです。この気持ちを大切にしながら、まだ試行錯誤しながらですが、頑張っていきたいと思えます。皆さまのご来店をお待ちしています。(安本)



タイのローリさん(右)と

すてっぴギャラリー展示 (11月30日まで)

豊中駅前のすてっぴ(豊中第女共同参画推進センター)にてサパナの活動を紹介します。ぜひお立ち寄りください。



シェフを囲んで美味しい&楽しいひとときを サパナ・サタデースペシャル

3月のオープンから10月までに、17回(14カ国)のランチ&トークイベントを開催しました。世界の多様な食文化との遭遇を楽しみに、毎回多くの方にご参加いただいています。平日に比べて土曜日は男性シェフが多いのも特徴です。12月1日(土)には、国際交流企画として初めての「サパナで和食」も登場します。土曜日のサパナもお楽しみに!



TIFA カフェ・サパナ 平日 10時~17時 (ランチタイム 11時半~売切れまで) 夜間はカフェ・バーCIELOとして営業。土曜・日曜はイベントまたは貸スペースとしてご利用いただけます。サパナのランチやイベントの最新情報は、事務局にお問い合わせいただくか下記をご覧ください。ホームページ：<http://tifacafe.tumblr.com/> フェイスブック：<http://www.facebook.com/tifacafe>

TIFA カフェ・サパナは、国籍や文化の違いにかかわらず誰もが暮らしやすい社会を目指す市民活動の一環として運営しています。

TIFA 入会のご案内 入会方法等くわしくは TIFA 事務局にお問合せください。

■正会員…入会金 2000 円 年会費 6000 円(月 500 円)
TIFA で実際に活動を行う会員です。世界の多様な文化との触れあいを楽しみたい方、歓迎します。

■賛助会員…年会費 一口 3000 円
TIFA の活動を資金面で支援していただく会員です。ニュースレター等をお送りします。

発行：特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか

TIFA (国際交流の会とよなか)は、豊中市にて1985年11月に発足しました。メンバーと地域に住む外国人が協力し、言葉や文化、国籍が異なる人たちがともに生きやすい社会の実現を目指して活動しています。

事務局 〒560-0021 大阪府豊中市本町3-3-3

Tel/Fax: 06-6840-1014

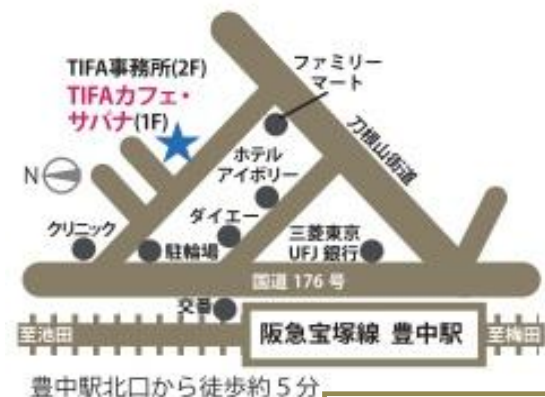
E-mail: tifa99@nifty.ne.jp

お問合せ・お申込みは 月~金曜 09:30~17:00

ホームページ: <http://homepage1.nifty.com/tifa/>

最新のイベント情報はホームページをご覧ください

TIFA カフェ・サパナの
2階が事務局です



エトレ豊中 すてっぴ(5F)
とよなか国際交流センター(6F)



特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか 2012年11月発行

“世界と出会う活動”ますます元気です!
2012年夏から秋にかけての活動を報告します

TIFAの国際理解プログラムでは、地域に住む外国人との出会いを通じて、世界の多様な文化とふれあう機会を提供しています。

TIFA 国際子どもキャンプ 2012

8月21日(火)~23日(木)

夏休みの国際子どもキャンプも今年で6回目となりました。今回は小中学生72人、外国人リーダー13人、日本人スタッフ16人で豊中市役所前からキャンプ場の青少年自然の家わっぱるへ出発しました。

一日目はまず5つのグループに分かれ、自己紹介や友達作り。夕方からはリーダーの国の紹介や言葉などの学習、20時からは待ちに待った肝試し。中学生と外国人講師がオバケ役を演じ、「キヤーキヤー」という叫び声わっぱるの夜空に響きわたっていました。

2日目は世界の料理作り。外の炊飯場で全員協力して一生懸命作りました。「おいしい!」という声がどのテーブルからも聞こえてきました。夜には「お国自慢大会」でグループごとにダンスや歌の発表。外国人リーダーのパフォーマンスに拍手喝采!最後の日は、宿泊棟・研修棟の掃除のあと、感想を一人ひとり話してくれました。

子どもたちは外国人のお兄さん・お姉さんから世界への扉を開いてもらい、明日への力を身につけたことでしょう。(田坂)



国際理解プログラム

9月26日に、豊中市立北丘小学校の地域子ども教室で国際理解教育プログラムを行いました。今回の講師は、モンゴルからの交換留学生として阪大法学部の大学院で学んでいるチンクセルさん。子ども達が飽きないよう、クイズをしたり、モンゴルの学校の様子を紹介するなど工夫して進めてくれて、子ども達も積極的に手を上げて答えていました。また、羊の骨を使うモンゴルの遊びやモンゴルのじゃんけんも楽しみ、自然にモンゴルの文化に親しんでいました(宮崎)

TIFAでは在住外国人と協力して、地域の学校等での国際理解プログラムを開催しています。お気軽にご相談ください。



ワールドクッカー

10月14日(日)くらしかんのキッチンで「内モンゴルの家庭料理とお話」を開催しました。内モンゴル出身の鉄鋼さんに、故郷のお料理とモンゴル文字や暮らしぶりなどのお話をいただきました。また、モンゴルの衣装に着替えて、歌の披露もしてくださいました。「お料理も美味しかったし、お話もよかったし…料理学校では味わえないほのとした雰囲気の中、素晴らしい歌声も聴かせてもらい、とても楽しい会でした」と、参加した皆さまも喜んでくださいました。



世界と出会う・世界を知る

アジアの民族音楽とおどい

10月20日(土)「すてっぷホール」にて13時15分からのワークショップの後、バリ島のデワスギさん、フィリピンのビッキーさん達、ベトナムの留学生、内モンゴルのホトランガさん、そして、日本舞踊の若柳吉純美、吉桂湖(けい子)さんと琴の演奏で最後を締めてくださいました。皆様のご協力のおかげで、無事終えることが出来ました。ガールスカウトのみなさんもよく活躍し、楽しんでくださったと思います。(葛西)



バンブーダンスを体験するガールスカウトの子どもたち



ベトナム留学生チームの愉快なパフォーマンス



馬頭琴と日本舞踊のコラボ

「大阪府芸術文化振興事業」一子どもが親しむアジアの民族音楽とおどりの事業として補助金をいただき実施しました。

グローバルサロン「私の歩んできた道～アジアとアフリカの子どもたちに教育をおくる」

6月30日(土)とよなか国際交流センターにて開催。講師：藤田文子さん(ESNAC教育グループ アジアとアフリカの子どもたちに教育をおくる会 代表)

藤田さんは開口一番、「アジアの国々の人は日本のことを『アジアに浮かんだ欧米の島』と思っている」と言われ、日本人として、とても悲しみをおぼえたと言われた。日本人の精神性を何とかしてアピールしたいと思うようになり、アジアの国をもっと知らなければと、アジアを旅された。旅を通じて想像以上の貧しさの子どもたちに触れ、必要な援助は教育だと確信。インド、バングラディッシュには50回以上も訪問を重ね、現在は2500人の里子がおられる。



教育と縁の無かった子どもたちが教育を受けることで正しい知識を持ち、生きていく手立てが持てるようになる。100人以上の子どもたちが大学を卒業し、中には学位を取得して大学の先生になっている。幸福な結婚生活を送りながら子どもに教育をしていく多くの里子がいる。子どもたちの希望の光となる活動に賞賛をおくりたい。(田坂)

TIFA セミナー報告

10/13 講演会「国際的視点から見る 3.11 と日本の原発」～福島から未来を考える

講師：アイリーン・美緒子・スミス



アイリーンさんは30年前から若狭湾の原発の安全性に疑問を持ち、京都を拠点に国内外の市民団体やNPO,NGOと繋がって脱原発の活動されています。今回の原発事故が海外ではどのように見えているかなどお話ししてくださいました。

そもそも地震多発国の日本に原発があるのが驚きで、柏崎刈羽原発事故後、地震学者が「これが最後の警告」と言ったにもかかわらず外国メディアに比べ日本の政府やメディアは深刻には受け止めなかった。その4年後にとうとう福島事故が起きたわけで、これはもう人災と言っていい。地震列島の上に建つ原発の恐ろしさは継続中で、安全であるはずもなく、大飯原発はそんな中で再稼働している。活断層の調査が始まっているが見つけないための調査になるのではと心配している。

日本の原子力政策についてもプルトニウムの輸送や核廃棄物の投棄などで海外からたくさん抗議を受けているがあまり報道されていない。海外での福島原発事故への関心は高く海外の情報で日本の状況を知ることが多かった。セシウム放出量についても日本は過小評価し、避難に関しては米国は80キロ圏内、フランスは全員引き揚げという安全に対する厳しさが日本と明らかに違っていた。なぜ日本はもっと遠くへ避難させないのかと何度も問われた。PSR(ノーベル平和賞をもらったアメリカの医師団)が年間被曝量20ミリシーベルトは法外であると述べ、8月広島で開催されたIPPMW(核戦争防止国際医師会議)では福島の子どもの健康を守るため被曝量を年間1ミリシーベルト以下に減らすあらゆる努力を行わなければならないという勧告をだした。この後子どもたちのために救済法が通ったのはよかった。日本のJPPMWは議論を避けていたのが残念だった。

お話を聴いて海外のたくさんの人たちが日本のために関心を寄せ憂慮し、様々に発信してくれていることを知り心強く感じた。原発輸出も大きな問題になっているが、日本でも反対していることを現地にも発信することで力になっていると言われ、私たちももっと海外の情報に注目し、私たちなりの方法で発信し繋がっていく事が大切だと思った、未来の子どもたちのためにも、政府の発表した「原発ゼロ社会へ」が後退しないよう今後の動きを厳しく見ていきたい。(上田万里子)



※講演のDVDが事務所にあります。

多文化子育てサロン

10月4日(木)ビュンビュンゴマ作り&小さなバザー開催。牛乳パックの端を切ってホッチキスでとめ、たこ糸を通して出来上がり。くるくるまわしてひもを伸ばすとビュンビュンという音がして子ども達は大喜び。子ども達はビュンビュンゴマを首にかけて大切に持って帰りました。テーブル1つ分だけに品物を置いた小さなバザーを開きました。子ども用の服やスカーフが人気がありました。



多文化子育てサロンは毎月第1・第3木曜日の午前中に、外国人親子を対象として開催しています。見学歓迎!

ネパールプロジェクト

■現地派遣報告 (葛西 美紗)

今年度は郵貯国際ボランティア貯金からの助成金を受けて、「女性の生計向上のための縫製指導」を実施しています。4月には、小野仁彦さんが、現地に1ヶ月近く滞在し、指導してくださいました。9月20日には、小野氏とカオハガンキルトの可能性を探るために同行された中園氏、縫製技術サポートのため石井志野さんと葛西の4名でネパール・シンズリマディ、ドダウリ村の縫製技術センター、サクーで仕事をしてきました。ドダウリ村では、縫製プログラム、キルトの可能性を探る集まり、初心者向きの小袋作り指導など、サクーでは縫製事業(大阪コミュニティ財団助成事業)の状況調査と今後の計画を話し合ってきました。



■ネパール交流の旅 (筒井百合子)

10月3日~9日、ネパールの活動を支援して下さっている方々と一緒に、現地の支援先を訪問しました。サクー村のウダラタラ小学校では、子どもたちと給食と一緒に食べ、楽しく交流。翌日、車で悪路を8時間かけてたどり着いたシンズリマディの子どもたちの家(女の子の孤児院)では、2泊3日子どもたちと寝食をともにし、ネパールの田舎の生活を体験しました。子どもたちの明るい笑顔が心に残る楽しい1週間でした。子どもたちの少女たちとハイキング



通訳・翻訳活動

■豊中市役所 外国人相談窓口

2000年より豊中市からの委託を受けて、「外国人向け市政案内・相談窓口」に相談員を派遣しています。日本語での手続きが不安な方はお気軽にお立ち寄りください。場所：豊中市役所 第1庁舎5階 <時間> 平日 10:00~12:00 13:00~16:00 <対応言語> 英語:月・火・木・金 中国語:水



保健センターで手続き支援

■広報とよなか多言語版作成

市報「広報とよなか」から毎月記事を抜粋し、4言語(英語、中国語、スペイン語、韓国・朝鮮語)で発行しています。ご入用の方はご連絡ください。豊中市のホームページからもリンクしています。(豊中市委託事業)

■幼稚園・保育所等での付き添い通訳

日本語でのコミュニケーションが難しい方のために付き添い通訳を派遣し、入園手続きや懇談のサポートをしています。(一部豊中市との共同事業)

上記の他、各種文書の多言語訳、病院への通訳派遣、生活に密着したコミュニケーションのお手伝いなども、必要に応じて行なっています。

参加者募集中!

お申込み・お問合せはTIFA事務局まで。いずれも体験参加できます。(お問合せ 電話・FAX: 06-6840-1014)

<国際交流のための英会話クラス>

●レッツコミュニケーション

毎週火曜 中級:9:30~10:40 初級:10:50~12:00 場所:とよなか国際交流センター

●元気の出る英会話

毎週木曜 初級:9:30~10:40 中級:10:50~12:00 場所:とよなか国際交流センター 参加費:両クラスとも 入会金2000円、月5000円(4回)

<外国人のための日本語クラス>

●日本語指導者養成講座

毎週月曜 10:00~12:00 ●にて 日本語を教えられる外国人を育成中。講師も外国人。子ども連れでも参加できます。

●ナイト漢字クラス

毎週火曜 19:30~21:00 とよなか国際交流センターにて 漢字を含む日本語を学びたい方対象

●日本語交流サロン

毎週金曜 19:30~21:00 とよなか国際交流センターにて 参加者のニーズに合わせて学習のサポートをします。上記の他、個別の学習支援などもご相談ください。